

FD・SD合同フォーラム 2016

自ら学ぶ学生を育てるための 教職員の役割

我が国の高等教育機関において共通かつ喫緊の課題として単位の質保証が挙げられる。単位制度は授業時間外学習の存在を前提とするものであり、講義科目の場合、授業時間の倍の長さの授業時間外学習が求められている。しかし、我が国の学生の授業外学習時間が不足していることは日米比較などからも明らかであり、単位制度を実質化することは、学びの質を保証する上で極めて大きな課題となっている。そこで、本フォーラムでは、現在進められている単位の質保証の背後にある考え方とその達成のために教職員が取り組むべきFD・SDに関する基調講演と、それを踏まえたグループ・ディスカッションを企画する。単位の質保証に向けて教職員はそれぞれの立場において何ができるか、どのように学生と関わればよいか、環境をどう整備し、どう活かせばよいか、参加者同士でともに考え、各機関の教育改善につなげていくことを目指したい。

日時

平成28年10月8日(土) 13:00~16:30

会場

鹿児島大学郡元キャンパス
学習交流ホール(学習交流プラザ2F)

対象: 鹿児島大学及び大学地域コンソーシアム鹿児島参加機関の教職員 等

参加申込: 9月16日(金)までに鹿児島大学学生部教務課教育推進係へEメールでお申し込みください。

—— プログラム

- 13:00 開会挨拶 清原 貞夫 (鹿児島大学理事、鹿児島大学FD委員会委員長)
- 13:10 趣旨説明 伊藤 奈賀子 (鹿児島大学教育センター高等教育研究開発部 准教授)
- 13:20 基調講演
演題: 「自ら学ぶ学生を育てるために何が必要か」
講師: 夏目 達也 (名古屋大学高等教育研究センター教授)
- 14:30 休憩(10分間)
- 14:40 グループ・ディスカッション
「自ら学ぶ学生を育てるために私たちにできることは」
- 16:20 閉会挨拶 野呂 忠秀 (鹿児島県立短期大学学長)